

# 小林研一郎

## ディスク・ライブラリー開設

寄贈：小林研一郎いわき後援会

いわき市出身の世界的指揮者、小林研一郎さん。  
“炎のコバケン”の愛称で親しまれる小林さんの、長年にわたる音楽界での功績を称えるとともに、国内外の名門オーケストラとの共同作業から生み出された素晴らしい音楽を、多くの市民の皆さんと分かち合うため、このたび、いわき総合図書館内に「小林研一郎ディスク・ライブラリー」を開設することになりました。

ライブラリーは、「小林研一郎いわき後援会」からいわき市にご寄贈いただいた小林さん指揮によるCD、LP、DVD、計93点と、いわき総合図書館所蔵のCDによって構成されています。今後、未入手の作品を含め、小林さんのディスクの完全なコレクションを目指す予定です。

皆さまには、本ディスク・ライブラリーを通して、いわき市が生み出した偉大な音楽家・小林研一郎さんについて理解を深めるとともに、音楽の素晴らしさを、ぜひ体験していただきたいと思えます。



©堀田正矩

### 小林研一郎さんプロフィール

“炎のコバケン”の愛称で親しまれる日本を代表する指揮者。東京藝術大学作曲科及び指揮科の両科を卒業。1974年第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第1位、特別賞を受賞。2002年プラハの春音楽祭では東洋人初のオープニング「わが祖国」を指揮して万来の拍手を浴びた。

これまでにハンガリー国立フィル、チェコ・フィル、アーネム・フィル、ロイヤル・コンサートヘボウ管、フランス国立放送フィル、ローマ・サンタ・チェチーリア国立管、ロンドン・フィル、ハンガリー放送響、N響、読響、日本フィル、都響等の名立たるオーケストラと共演を重ね、数多くのポジションを歴任。

ハンガリー政府よりハンガリー国大十字功労勲章(同国で最高位)等、国内では旭日中綬章(生前の指揮者への叙勲は日本初)、文化庁長官表彰、恩賜賞・日本芸術院賞等を受賞。

作曲家としても数多くの作品を書き、1999年に日本・オランダ交流400年記念の委嘱作品、管弦楽曲『パッサカリア』を作曲、ネーデル

ランド・フィルハーモニー管弦楽団によって初演されると、聴衆から熱狂的な喝采を以て迎えられた。同作品はそれ以降も様々な機会に、アシュケナージ指揮N響、小林研一郎指揮日本フィル等で再演されている。

社会貢献を目的とした「コバケンとその仲間たちオーケストラ」では活動趣旨に賛同するプロ、アマチュア、学生等障がい者を含む演奏家たちと全国でチャリティ公演も行っている。

CD、DVDはオクタヴィア・レコードより多数リリース。著書に『指揮者のひとりごと』(騎虎書房/日本図書協会選定図書)等がある。

現在、日本フィル桂冠名誉指揮者、ハンガリー国立フィル・名古屋フィル・群響桂冠指揮者、読売日響特別客演指揮者、九響名誉客演指揮者、東京藝術大学・東京音楽大学・リスト音楽院名誉教授、東京都豊島区音楽監督、ロームミュージックファンデーション評議員等を務める。(オフィシャルWEBサイトより)